

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高める！」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進
- II. 地域に貢献し、愛される学園を目指す
- III. 学園の運営基盤を強化する

評価 3: 優れている 2: 適切 1: 改善が必要 として委員による評価の平均値を記載

評価項目	成果と課題	学校関係者評価および次年度の取り組み	
1. 教育理念・目的 ・人材育成像	教育理念・目的・人材育成像が示され、学生便覧やシラバス等により学生および保護者に対しに周知されている。	3	教育理念等が明確に示されている。 アドミッションポリシーを明確に示し社会へ発信することで、より良い人材の育成に努めることを望む。
2. 学校運営	学園テーマ、運営方針のもとに事業計画・予算案が立てられ、概ね計画どおり業務執行がなされている。 諸規則が整備され、学校運営会議等により意思決定がなされている。	2.5	学園テーマ、運営方針のもとに業務執行に努めている。 必要に応じた諸規程の見直しに努めるとともに、校務分掌の明確化・業務の効率化に努めるよう求める。
3. 教育活動	1) カリキュラム 社会のニーズに基づいた教育目標が設定され、目標達成に向けたカリキュラムが編成されている。 2) 分かりやすい授業への取り組み 教員自身による自己点検評価、学生による授業評価、校長による授業参観を実施、授業の改善向上に努めた。 3) 適切な成績評価 合否判定、単位認定、進級・卒業認定等の基準が設けられ、これに基づき適正に評価されている。 試験においては必要度・難易度から十分吟味した問題の作成に努めた。 4) 教職員の資質向上 学校研修会や外部の研修会・学会・セミナー等に参加し、資質向上に努めた。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のニーズ、教育課程編成委員会の提言に基づき、卒業時のアウトカム（学修成果）を明確にし、教育目標を含むカリキュラムの見直しに努めるよう求める。東洋医学の基本理念である「治未病」に関するカリキュラムを充実させて欲しい。</li> <li>・各教員が分かりやすい授業に向けて努力している。今後はアクティブラーニングなどの授業研究に取組み、指導力の向上に努めるよう望む。</li> <li>・学生や保護者に対し、評価・認定基準の周知をはかり、今後も適正な評価に努めるよう望む。</li> <li>・今後も企業や職能団体との連携による教員研修を実施し、教育力の向上に努めることを期待する。</li> </ul>

3. 教育活動	<p>5) その他の教育活動、 球技大会、ゼミ等の実施により、学生間や学生・教員間のコミュニケーションが図られた。また、学園祭では学生によるボランティア施術が行われ、日頃の練習成果を発揮する機会となり、奉仕の精神の発揚、市民との交流を図ることができた。</p>		<p>授業以外の活動により、豊かな人間性を育む努力がなされている。学生が有意義な学園生活を送ることができるよう、より良い活動にして欲しい。 業団体としては、医療者としての倫理・態度教育の充実、業団体への入会促進を望む。</p>
4. 学修成果	<p>退学率の低減策として、面談による問題発見・助言を行い退学防止に努めた。また、放課後や夏休み期間等を利用した補習授業等に努めた。ミスマッチによる退学を防ぐため、オープンキャンパス等において十分な説明に努めた。国家試験合格率は、あん摩マッサージ指圧師 95.3%、はり師 88.6%、きゅう師 88.6%であった。目標の 100%達成には及ばなかったが、既卒者も含め課外による試験対策などにより目標達成に努めた。臨床実習を通じて、基本的臨床能力の向上に努めた。 日体協公認アスレティックトレーナー平成 26 年度検定試験に 3 名が合格した。</p>	2.3	<p>学修成果を明確にし、学生の動機づけを高めるよう努力するとともに、教職員が同じ目的意識を持って互いに協力しながら目標達成に向けて努力して欲しい。 とくに、国家試験合格率の向上に向けて、さらなる努力を求める。また、既卒者のフォローアップにも努めて欲しい。 はりきゅう実技については、東洋療法学校協会による外部評価を受け、学修成果の向上に努めている。</p>
5. 学生支援	<p>1) 進路相談 就職ガイダンスを開催し、企業と学生とのコミュニケーションを支援した。就職活動などの助言を行った。 2) 健康管理 学校保健安全法に基づき、学生および教職員の健康診断を実施した。インフルエンザ等感染症予防の衛生教育、カウンセリング等に努めた。 トレーニングルームを学生に利用できるようにし、健康づくりの推進に努めた。 3) 生活相談 校友会奨学金制度を設け、学生を支援している。 日本学生支援機構奨学金関する相談、手続きを支援している。 困窮している学生については授業料の分納を認めている。スクールカウンセラーによる相談を行っている。</p>	2.5	<p>就職ガイダンスは学生にとって重要なイベントである。今後も、企業と学生および卒業生とのコミュニケーション支援に努めて欲しい。 健康管理に努めるとともに、健康増進・ストレス対策に取り組むよう望む。また、保護者との適切な連携をはかる。 クラス担任と学生とのコミュニケーションを密にし、問題の把握に努めるとともに、学生相談室との連携に努めるよう望む。 トレーニングルームを多くの学生が効果的に活用できるよう望む。 校友会の奨学金制度は学生にとって有難い制度である。さらなる充実を求める。</p>

	<p>4) 卒後教育の実施 卒後臨床専攻コースを設け、卒後研修を実施している。 校友会研修会、鍼灸臨床セミナー等を実施し、卒後のキャリアアップを支援した。</p>		<p>卒後臨床研修および鍼灸臨床セミナーを実施するなど、卒後教育のさらなる充実に努めて欲しい。</p>
6. 教育環境	<p>施設・設備の構造・面積等を法令に準拠している。 本館各階に防犯カメラ、玄関にセンサー設置するなど防犯・安全対策に努めている。 教材・教具・図書等の整備に努めている。 一方、大規模地震等を想定した災害備品については、拡充が必要である。</p>	2.3	<p>学習環境、職場環境の改善・向上に努め、実習用具、解剖模型、図書等のさらなる充実に努めて欲しい。 さらに、防災対策の点検・備品等の拡充に努めるよう求める。</p>
7. 学生募集および受け入れ	<p>本校学生募集要項に基づき、適正に実施している。 本校の情報については、学校ホームページ等のメディア、学校案内等により発信している。 学校説明会では、体験授業や個別相談を行い、適正な情報提供に努めている。</p>	2.2	<p>ホームページ等を効果的に活用し、正確でわかりやすい情報の発信に努めて欲しい。</p>
8. 財務	<p>健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。 予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。 会計監査は適性に実施されている。</p>	2.3	<p>健全な財務状況の保持および情報公開に努めて欲しい。</p>
9. 法令等の遵守	<p>専修学校設置基準、職業実践専門課程の規程、養成施設認定規則および指導要領等の法令を遵守している。 学校関係者評価を実施、その結果を公開している。</p>	2.5	<p>継続して法令の遵守に努めるとともに学校評価および情報公開に努めるよう求める。</p>
10. 社会貢献・地域貢献	<p>1) 地域貢献 施術所の運営を通じて、市民の保健衛生の向上に寄与することができた。熱海市一次予防および介護予防事業に協力し、疾病予防・介護予防に貢献している。 2) 社会貢献 スポーツイベント等におけるボランティア活動に参加し、貢献することができた。</p>	3	<p>学校の特色、専門性を活かした地域貢献、社会貢献に努めて欲しい。 高齢者に対する地域包括ケアに力を入れて欲しい。 ボランティア活動への学生参加を奨励し、様々な体験を通じて人間性の向上をはかるよう望む。</p>

東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会

日 時 平成27年4月17日（金）16：00～18：00

場 所 東海医療学園専門学校会議室

出席者 学校関係者評価委員会

委員長 羽鳥 龍行 （東海医療学園校友会会長）

委 員 中村 聡 （公益社団法人静岡県鍼灸師会会長）

〃 斉藤恭二郎 （公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

〃 鈴木 秀旺 （熱海市連合町内会長）

〃 田中 博 （NPO 法人熱海市体育協会事務局長）

〃 矢田 真樹 （静岡県鍼灸学術研究会会長）

教職員 杉山 誠一 （校 長）

〃 城 茂高 （事務長）

〃 水野 浩一 （教務課長）

〃 太田 一郎 （臨床センター長）

〃 木村 博吉 （教務課長補佐）